

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : バイオセーフ  
供給者の会社名称, 住所及び電話番号  
会社名称 : サンケイ化学株式会社  
住所 : 〒110-0005 東京都台東区上野7丁目6-11(第一下谷ビル)  
担当部門 : 開発部  
電話番号 : 03-3845-7951  
FAX番号 : 03-3845-7950  
緊急連絡先 : 同上  
整理番号 : B - 165  
推奨用途 : 生物農薬(殺虫剤(天敵線虫))  
使用上の制限 : 農薬登録内容以外の使用は不可

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類  
健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2B  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(呼吸器)

上記に記載がないものは、「区分に該当しない」か「分類できない」である。

## GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 警告  
危険有害性情報 : H320 眼刺激  
H372 長期的にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器)

注意書き : 【安全対策】  
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
P264 取扱い後は手をよく洗うこと。  
P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

## 【応急措置】

P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P314 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。

P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

## 【保管】

## 【廃棄】

P501 内容物や容器は、当該規則に従い都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して、適切に廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量
スタイナーネマ カーボカプサエ オール株の感染態3期幼虫	250万頭/g
吸水性高分子等	非公開

作成日 2022年 5月 17日

改訂日 2024年 6月 1日

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗うこと。  
皮膚刺激又は発疹を生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。  
汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診断、手当てを受けること。

#### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 霧状水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤等
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災時の特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等が含まれる。
- 特有の消火方法 : 消火水が水系へ流入しないようにすること。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 適切な防護服及び保護具(手袋、眼鏡、防じんマスク)を着用すること。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 : 適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した物質が河川、湖沼、海域に飛散、流入しないように注意すること。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 床面等にこぼれた場合は、直ちに掃き取り、密閉できる空容器に回収すること。  
風上から作業すること。
- 二次災害の防止策 : 情報なし

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : ラベルをよく読む。記載以外に使用しない。  
取扱いは換気の良い場所で行い、作業場の換気は十分行う。  
取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。  
取扱いの都度、容器を密閉する。  
高温、火気の近くで取扱ってはならない。
- 局所排気・全体排気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」を参照
- 接触回避 : 吸い込んだり皮膚や眼に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業する。
- 衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 保管 安全な保管条件 : 使用する直前まで、冷暗所(約 5℃)に容器を密閉し保管すること。  
活性が低下しないように、凍結を避けて保管すること。  
35℃以上にならないように保管すること。  
飲食品や飼料と区別し保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会で未設定

作成日 2022年 5月 17日

改訂日 2024年 6月 1日

設備対策 : 屋内で取扱う場合には、全体換気装置を設置する。  
できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。  
取扱場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具 : 防じんマスク  
手の保護具 : 防水手袋  
目、顔面の保護具 : 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡  
皮膚及び身体の保護具 : 長ズボン・長袖の作業衣などの適切な作業衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体(塊状/ゲル)  
色 : 淡黄色  
臭い : 情報なし  
融点/凝固点 : 情報なし  
沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 情報なし  
可燃性 : 情報なし  
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 情報なし  
引火点 : 情報なし  
自然発火点 : 情報なし  
分解温度 : 情報なし  
pH : 7.33 (20.0 g/80 mL 水溶液)  
動粘性率 : 情報なし  
蒸気圧 : 情報なし  
密度及び/又は相対密度 : 約 0.7 g/cm<sup>3</sup> (20°C)  
相対ガス密度 : 情報なし  
粒子特性 : 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 反応性なし  
化学的安定性 : 情報なし(生物的安定性は5 °Cで4か月間安定)  
危険有害反応可能性 : なし  
避けるべき条件 : 凍結及び35 °C以上の温度(失活する)  
混触危険物質 : 情報なし  
危険有害な分解生成物 : 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等が含まれる。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 LD50 : 区分に該当しない  
雌雄ラット >5,000 mg/kg  
雄雌マウス >5,000 mg/kg  
経皮 LD50 : 区分に該当しない  
雄雌ウサギ >2,000 mg/kg  
吸入 LC50 : データが不足しているため分類できない  
皮膚腐食性/刺激性 : GHS 分類基準以下であり区分に該当しない  
刺激性あり(ウサギ)  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2B  
刺激性あり(ウサギ)

作成日 2022年 5月 17日

改訂日 2024年 6月 1日

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性 : データが不足しているため分類できない  
皮膚感作性 : 区分に該当しない  
陰性(モルモット)

生殖細胞変異原性 : データが不足しているため分類できない  
発がん性 : データが不足しているため分類できない  
生殖毒性 : データが不足しているため分類できない  
特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: データが不足しているため分類できない  
特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: 吸水性高分子等の一部に、区分1(呼吸器)に分類されるものを10%以上含有するため、区分1(呼吸器)とした。

誤えん有害性 : データが不足しているため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類(コイ) : LC50(96h) 5×10<sup>5</sup>頭(線虫)/Lで影響なし  
甲殻類(ミジンコ) : EC50(48h) 5×10<sup>5</sup>頭(線虫)/Lで影響なし  
藻類又は他の水生植物 : 情報なし

分類のための十分なデータでないことから、水生環境有害性 短期(急性)及び水生環境有害性 長期(慢性)を分類できないとした。

残留性・分解性 : 情報なし  
生態蓄積性 : 情報なし  
土壌中の移動性 : 情報なし  
オゾン層への有害性 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物 : 関連法規並びに地方自治体の規則に従い、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に廃棄すること。

汚染容器及び包装 : 関連法規並びに地方自治体の規則に従って適切に処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制 国連番号 : 該当しない  
品名 : 該当しない  
国連分類 : 該当しない  
容器等級 : 該当しない

国内規制 陸上輸送 : 道路法等の規定に従う。  
海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。  
航空輸送 : 航空法の規定に従う。

特別の安全対策 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
車両、船舶には保護具(手袋、メガネ、マスク等)を常備する他、緊急時の処理に必要な消化器、工具等を備えておく。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない  
労働安全衛生法 : 該当しない

作成日 2022年 5月 17日

改訂日 2024年 6月 1日

毒劇物取締法 : 普通物  
化審法 : 該当しない  
消防法 : 該当しない  
農薬取締法 : 登録番号 第 21503 号(登録: 株式会社エス・ディー・エス バイオテック)

## 16. その他の情報

### 参考文献

- ・ JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学物質等の分類方法
- ・ JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 — ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
- ・ バイオセーフ SDS (株式会社エス・ディー・エス バイオテック 2023年7月)

この製品安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な手扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。